



# 北海道檜山沖における協議会（第2回）での 江差町からのご質問についての回答

北海道檜山沖における協議会（第3回）

2024年11月

環境省大臣官房環境影響評価課



## 江差町からのご質問

### ● 江差町からのご質問 北海道檜山沖における協議会（第2回）

当町においては、洋上風力のゾーニングマップを作成しており、その際に、マリンIBA（海鳥の重要生息地）が問題となった。秋田県においても、マリンIBAの対象であるところ、海鳥に対してどのように対応してきたのか、また、当檜山沖においてはどのように対応していくべきであるのか、情報があれば、次回の協議会までに教えていただきたい。

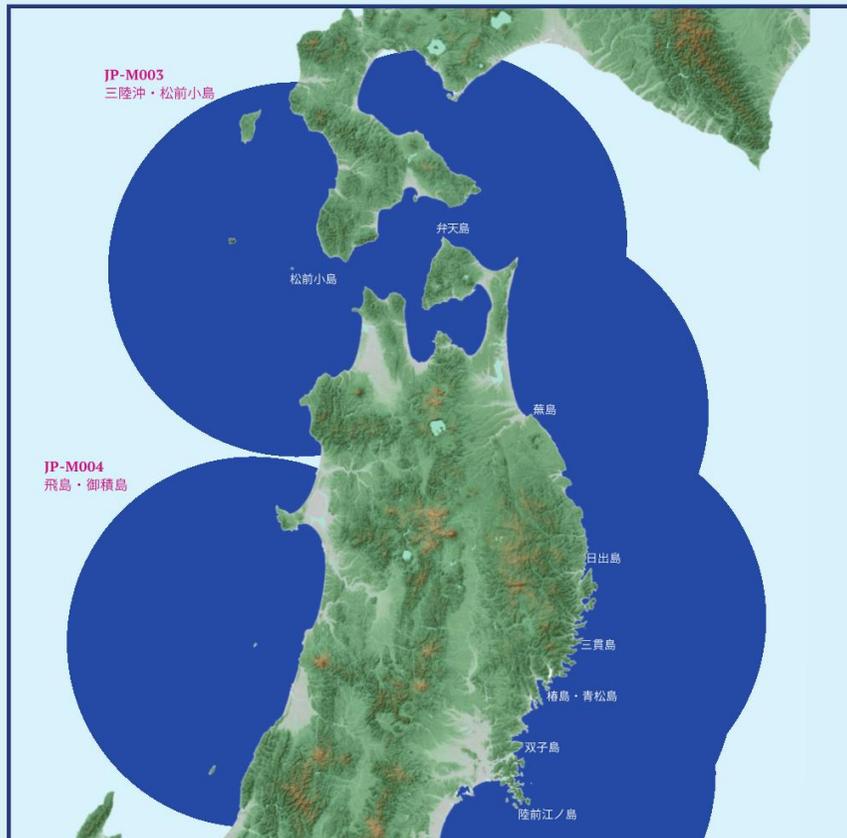
### ● 回答

- マリンIBAは、海鳥を指標として生物多様性や環境保全において重要な海域を選定したものとなり、非常に広い範囲が示されています。
- 環境省では、洋上風力発電の立地検討にあたり、鳥類への影響について適切な配慮が可能となるよう、影響のリスクに応じて注意喚起レベルを示した「風力発電における鳥類のセンシティブティマップ（海域版）」を公開していますので、風力発電のゾーニングや事業計画の立案の際にご活用ください。

# 北海道檜山沖に掛かるマリンIBAについて

## ● マリンIBAの範囲

マリンIBAは、海鳥を指標として生物多様性や環境保全において重要な海域を選定したものとなり、非常に広い範囲が示されています。江差町が位置する北海道檜山沖もマリンIBAとして示されています。



- 日本では、2010年からバードライフ・インターナショナル東京と日本野鳥の会がその選定を進めてきました。これまでに、保全上重要な海鳥の繁殖地（44ヶ所）周辺で、採餌に利用する海域27ヶ所をマリンIBAとして選定されています。
- 海洋における食物連鎖の上位に位置する海鳥を指標として、生物多様性や環境保全において重要な海域を選定し、法的な保護区域とし、海洋環境と海鳥双方の保全に貢献することを目的として作成しています。

<各団体のホームページ>

○一般社団法人バードライフ・インターナショナル東京  
<https://tokyo.birdlife.org/programmes/marine/marine-iba>

○公益財団法人日本野鳥の会  
<https://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/miba-what-is/>

出典：マリンIBA白書（公益財団法人日本野鳥の会 2016年）

[https://www.wbsj.org/nature/hogo/others/miba/images/miba\\_file.pdf](https://www.wbsj.org/nature/hogo/others/miba/images/miba_file.pdf)

# 北海道檜山沖のセンシティブティマップ

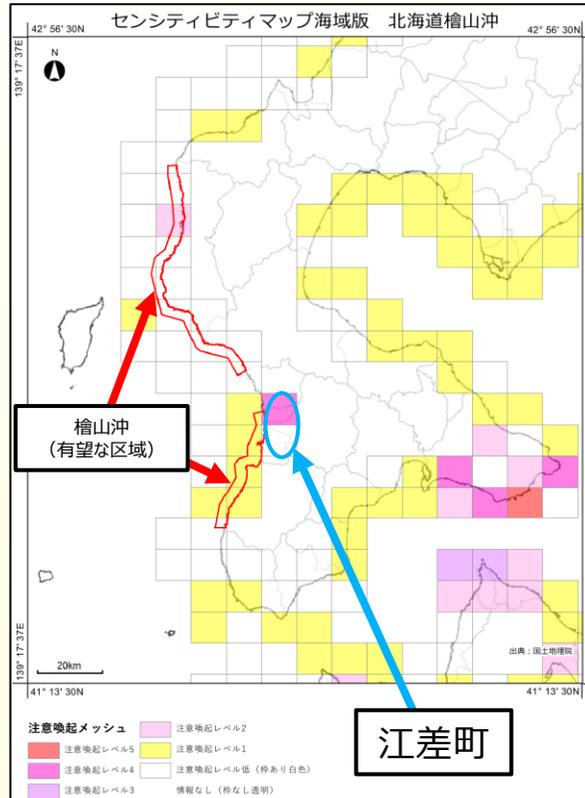
## ● 風力発電における鳥類のセンシティブティマップ (海域版)

マリンIBAは海鳥の集団繁殖地を中心に利用海域を広く囲ったものである一方、環境省が公表している「風力発電における鳥類のセンシティブティマップ (海域版)」は海鳥の集団繁殖地や分布範囲等をもとに、マリンIBA選定と同様の評価軸で、影響のリスクに応じて注意喚起レベルを示しており、洋上風力発電の立地検討にあたり、より具体的に配慮すべき区域を把握することが可能。

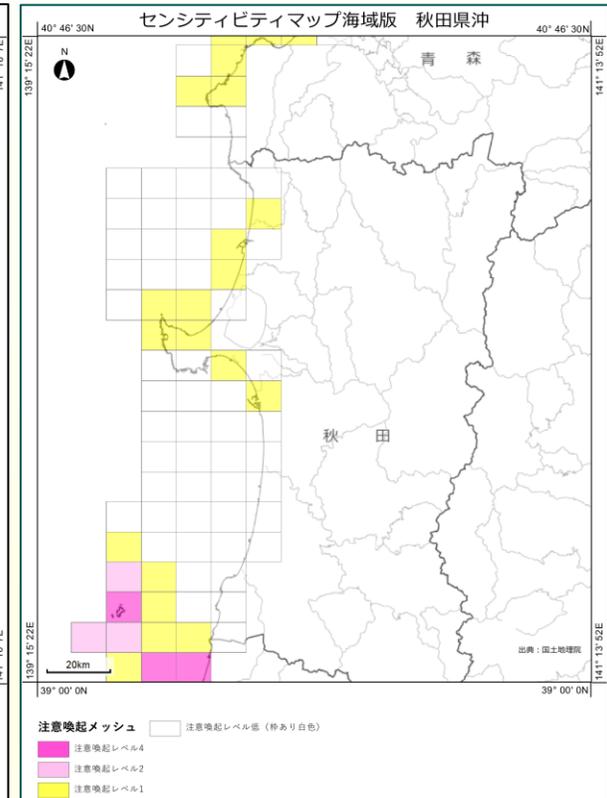
### センシティブティマップ (海域版) とは

- 風力発電における鳥類のセンシティブティマップ (海域版) では、鳥類への影響を考慮すべき区域として注意喚起メッシュ (10kmメッシュ : 標準地域メッシュの2次メッシュ) の情報を収録しています。
- 注意喚起メッシュは、バードストライク等と関連性の高い鳥類が多く分布する海域を示しており、そのレベルにより6つのランクで示しています (影響のリスクが高い方から順に注意喚起レベル5~1及び低)。
- 注意喚起メッシュは、保護区に指定されている重要な場所や希少な海鳥の集団繁殖地 (保護区等)、海鳥の集団繁殖地及び海鳥の分布状況 (海鳥の洋上分布) の3つの構成要素の評価結果を重ね合わせることで作成しています。

### 北海道檜山沖



### 秋田県沖



センシティブティマップは「環境アセスメントデータベース“EADAS (イーダス)”」で閲覧が可能です。

<http://www2.env.go.jp/eiadb/webgis/index.html>